【第５回委員会の御質問について】

資料２

No.	質問内容	回答
1	「学区の医療福祉を考える会議」の推進について、自分も参加しているが、成果はこれからで【評価Ａ】とは言い難いのではないか。	地域における新たな居場所の創出、地域支え合い運送の開始、地域安心声かけ訓練の実施など、「学区の医療福祉を考える会議」から新たな活動が生まれており、着実に成果が出てきていると考えます。
2	大路区における状況について、町内会組織と活動団体との接点はどのようになっているか。また、地域づくりに対する機運を高めるための方策はあるのか。	地域サロン等の活動団体は、町内会の協力支援を得ながら運営されており、社会参加が困難となった高齢者や閉じこもりがちな高齢者にも参加いただくことで、身近な場所での「見守り」「支え合い」を育む地域づくりにつながります。
3	小学校区単位での取組とあるが、学区の自治連合会の組織されていないところもあると聞くが、自治連合会のないところは各学区まちづくり協議会で行うのか。	学区社会福祉協議会やまちづくり協議会が中心的な役割を担われており、自治連合会、民生委員児童委員など、各学区の状況に応じたメンバーで構成されています。
4	協議体の設置が遅れている学区については、設置困難な理由があるのか。	会議の趣旨等について了解が得られた学区から順次協議体の設置に至っており、目標に沿った設置となっています。
5	入退院時において、医療機関とケアマネジャーが連携を図り、医療と介護が必要な高齢者を地域で支える体制づくりの目標値はなんの割合か？また、退院時の情報収集や退院前カンファレンスの状況の連携の低さが伺えること、病院側の医療従事者と在宅の医療従事者のカンファレンスの参加割合が低いことも課題であるが、評価Ａにあたるのか？	目標値については、県が行う「介護支援専門員と医療との連携に関する調査」における入院時情報提供書提供数の割合を挙げており、実績については草津市のみの割合となっております。 退院時の連携割合については、市単位での割合が不明ですが、湖南圏域の結果を見ると、御指摘のとおり、入院時と比較して退院時の連携に課題がありますが、連携割合は増加傾向にあることから、評価Ａとしております。
6	(36)高齢者が安心して暮らせる住まいの確保において県における登録住宅の確保が進まない、連携の課題の具体性は？	県における登録住宅の確保が進まない理由としては、制度の周知不足が原因と考えられます。住宅部局と福祉部局の連携については、相互に積極的な情報提供を行ってまいります。
7	(50)HP などを活用した介護サービス事業所情報の提供　評価Ｂについて、今後の方向性として地域密着以外の情報提供をどのように考えているのか？	地域密着型サービス以外の情報が分かるよう、「介護サービス情報公表システム」のリンク等を検討してまいります。

8	(56)介護人材の確保に向けた取組の検討について、４市合同での人材確保緊急支援事業費補助金の活用において、イベントの開催に至らないとの理由になっているが、今後の対策についてはどのように考えているか。	引き続き、イベントの開催も含め、支援の方策を検討してまいります。
9	地域サロンは全体に１５７サロンありますが、小学校区別でみると、どのようになるのか、またサロン数はどのようなのか。	地域サロンの小学校区別の設置状況は別紙のとおりです。
10	老人クラブへの加入者数は１割にも満たしていない。支援を行ったにしては成果が出ていないように思われる。なぜＡの評価なのか。	高齢者のニーズの多様化により、老人クラブ数・加入者数は減少傾向にありますが、県全体の減少割合と比較すると緩やかであり、支援の効果があったと考えており、Ａの評価としております。